２０２２年７月６日

各　位

京成建設株式会社

当社サーバーに対する不正アクセスに関するご報告（第３報）

４月１８日付および、５月２４日付「当社サーバーに対する不正アクセスに関するご報告」にてご報告いたしました、当社が運用するサーバーへの不正アクセスについて、下記のとおりお知らせいたします。

関係者の皆様に多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、改めてお詫び申し上げます。

記

１．不正アクセスの概要

４月７日深夜から８日早朝にかけて、当社が運用するサーバーに対して不正アクセスが行われ、サーバーに保管されていたデータ等の一部が暗号化されていること（ランサムウェアによる攻撃）が判明いたしました。

当社は本件の発覚後、直ちに当該サーバーをネットワークから隔離して、これ以上の不正アクセスを防ぐとともに、千葉県警へ通報したほか、関係各局へ連絡の上、弁護士を含む外部のサイバーセキュリティ専門家等の協力を得て、詳細な調査および、復旧に向けた対応を進めてまいりました。また、個人情報保護委員会への報告を行っております。

なお、システムの復旧作業につきましては、安全を確保した上で、バックアップデータを用いた復旧を進めており、当社の業務執行に対する特段の影響はございません。

２．情報漏洩の状況

被害を受けたサーバーに保存されていたデータの一部が盗取され、総務関連の業務データが漏洩したことを専門家の調査を通じて確認いたしました。

漏洩したデータに含まれる個人情報は、次の通りです。

- 取引先顧客・協力会社・同業他社
  会社名、代表者、住所、振込先口座、ご担当者の氏名、役職名、メールアドレス、電話番号等が含まれています。
- 求職者・社員・扶養家族・退職者等
  住所、氏名、生年月日、メールアドレス、電話番号、給与等が含まれています。

なお、現時点までに、お客様や関係者の皆様に影響を与える二次被害は確認されておりません。

３．原因

ネットワークシステムの脆弱性を利用した外部からの攻撃がなされたことを、専門家の調査を通じて確認いたしました。

４．再発防止策

ネットワークシステムの脆弱性対策を施すとともに、エンドポイントに対する保護機能の多層防御を実装しております。

また、外部から社内ネットワークへのアクセス制御や、サイバー攻撃に対する検知機能の強化を図るなど、より強固なセキュリティ管理体制を再構築してまいります。

以　上

◎本件お問い合わせ先
京成建設株式会社　総務部（047-435-6321）